

日銀グランプリは、日本銀行が毎年開催している、学生の皆さんを対象とした金融分野の小論文・プレゼンテーションのコンテストです。今回も、多くの皆さんのご応募をお待ちしています！

応募要領

■課題

「わが国の金融への提言」

わが国の金融に関し、最近の国内外の金融経済環境の変化などを踏まえ、提言を行ってください。以下は、切り口の例ですが、テーマはわが国の金融に関するものであればどのように設定していただいてもかまいません。皆さんのフレッシュな視点からの問題提起をお待ちしています。

【例】① 日本経済の将来のために、金融の持つ機能を通じて実現したいこと

- 新規事業立ち上げの活発化、地域経済の活性化、環境問題への対応など
- 世界的な金融危機を通じて学んだ教訓を金融システムの運営や金融機関の経営に活かす方法
- 効果的かつ効率的な金融教育の推進方法とそれを通じた経済の活性化策

② 日本銀行についての私の意見

- 日本銀行の政策や業務に関連する提言
(金融政策、金融システムの安定に関する政策、お金を便利に安心して使えるための発行・流通方法、わかりやすい情報の提供を行うための方策など)

■応募資格

現在、大学(短大を含む)および専修学校専門課程などに在籍の方(大学院生は除く)。2～4名1組のグループでご応募ください。

■応募規定

・予選(書類審査)…… 上記の課題に沿って、題名をつけ、日本語でA4(タテ置き、横書き)×5枚以内(1枚は35字×35行)の小論文としてまとめてください(注釈、図表、参考文献などは枚数に含みません)。また、冒頭に、A4(同)×1枚(同)で、小論文の「提言」部分の要約を付してください。応募に際しては、専用の応募用紙(下記参照)を添付してください。

※応募は未発表のものに限り、他者の著作を引用するときは、その旨明記してください。

- ・厳正な審査を経て、決勝進出チーム(5チーム程度)が選ばれます。
- ・決勝…… 2010年12月にプレス公開で開催します。日本銀行本店(東京)にて論文要旨のプレゼンテーション(15分程度)と審査員との質疑応答(15分程度)を予定しています。日程などの詳細は、決定次第、下記ホームページで公表します。

■審査方法

【書類審査】①現状の把握・分析的確性、②論旨および提言の論理性・説得性、③着眼点や提言の独創性・実効性、といった諸点に照らして、決勝進出チームを厳正に選定します。
——提言を作成する際には、その利点や効果だけでなく、実現上の課題や副作用なども検討してください。

【決勝審査】書類審査のポイントに加え、④プレゼンテーションおよび質疑に対する応答の内容が審査の対象になります。

■審査員

日本銀行政策委員会メンバーおよび日本銀行外部の有識者(計5名程度。審査員長は日本銀行副総裁を予定)。

■賞

- ・最優秀賞／1チーム(楯、賞状、図書券15万円)
- ・優秀賞／2チーム(楯、賞状、図書券3万円)
- ・特別賞／1チーム(楯、賞状、図書券3万円)

※特別賞は、日本銀行の政策や業務に関連する提言の中から選定します。他の賞と併せての受賞もできます。

※これらの他に、敢闘賞(賞状)および佳作を選定することがあります。

■応募締切

2010年9月28日(火) ※必着

■応募方法

専用の応募用紙を日本銀行ホームページ(<http://www.boj.or.jp/>)から入手、小論文に添付の上、電子メールまたは郵送にてご応募ください。

※応募者の個人情報、日銀グランプリ関係の連絡、発表以外の用途には使用しません。

■応募・問合せ先

【郵送】〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1
日本銀行情報サービス局 総務企画担当「日銀グランプリ」係

【Tel】03-3277-2405(土・日・祝日を除く10時～17時) 【Fax】03-5203-8703

【E-mail】post.prd3@boj.or.jp

■注意事項

- ・入賞論文の著作権は主催者(日本銀行)に帰属します。
- ・応募規定の内容を満たさない論文は選外となります。
- ・入賞論文は日本銀行のホームページなどに掲載することがあります。
- ・二重投稿はご遠慮ください。
- ・提出物は返却いたしません。
- ・選考過程についてのお問合せには応じかねますので、ご了承ください。

※日本銀行ホームページ(<http://www.boj.or.jp/>)に、過去の日銀グランプリにおける入賞論文、審査員の講評などを掲載しています。また、過去の書類審査を踏まえた論文作成上の留意点も掲載しています。ぜひご覧ください。

～「第5回 日銀グランプリ」決勝から～



《プレゼンテーションの様子》



《西村審査員長の挨拶》



《表彰式にて》